

2020年12月25日
公益財団法人国際保険振興会

独立行政法人国際協力機構（JICA）の発行するソーシャルボンドへの投資について

公益財団法人国際保険振興会は、このたび独立行政法人国際協力機構（理事長 北岡 伸一、以下「JICA」）が発行する、新型コロナウイルス対策を資金用途に含む「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当される債券です。「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」の発行により調達された資金は、JICAの実施する政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業の内、開発途上国における新型コロナウイルス等への対策の一環として、保健医療システムの整備、水・公衆衛生環境の改善等の感染症対策支援や、中小企業金融支援等の経済影響緩和支援等に充当される予定です。

当財団では、世界の保険後進国で保険リテラシーが向上していくための教育、指導、助成を行い保険事業の健全な発展を目指しています。ユニバーサルヘルスカバレッジの達成や健康リスクの早期警告など公的社会保障を補完する保険会社の果たすべき役割が高まっている中、SDGs 第3項「すべての人に健康と福祉を」を重要課題に位置付けています。今回の投資は、JICA がグローバルに目指している保健医療の改善支援に大きく賛同して決定いたしました。

当財団は、今後も同様の ESG 投資を継続的に実施し、SDGs の達成に貢献していきます。

（本債券の概要）

銘柄名	第 57 回国際協力機構債券
発行金額	100 億円
発行日	2020 年 12 月 25 日
期間	10 年

以上